

メッセージ題「祝福の秘訣」 <先週の講壇より>

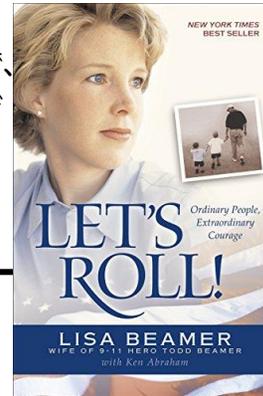
「主はその夜、彼に現れて言われた。『わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加える。わたしのしもべアブラハムのゆえに。』」創世記 26:24 【新改訳 2017】

同時多発テロから 20 年、あの時にテロリストと戦って亡くなったトッド・ビーマーさんのことを私は毎年思い出します。彼は敬虔なクリスチャン、サンデースクールの先生もしていた人でした。その飛行機に乗り合わせた彼は異変に気付き、周囲の男性たちと共にテロリストと戦うことを決め、飛行機の中から電話交換手に状況を伝え、共に“主の祈り”をささげ、「レッツ・ロール！」と叫んで向かって行ったということです。

遺された妻のリサさんはその後、お腹にいた子を無事に産んで育てました。テロリストを恨むのではなく、同じ境遇の方々を慰め励まして生きることが出来るのは、ただただ神様が共にいてくださったからだと言っています。

イサクは、この地方では命ともいえる井戸を何度も奪われますが、恨まず、ただ悲しむのではなく、主を見上げて生き抜き、祝福を得ました。主を仰ぎ見て生きる、ここに祝福の秘訣があるということが言えるでしょう。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 9 月 12 日

オレンジ郡  
キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を強く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

